

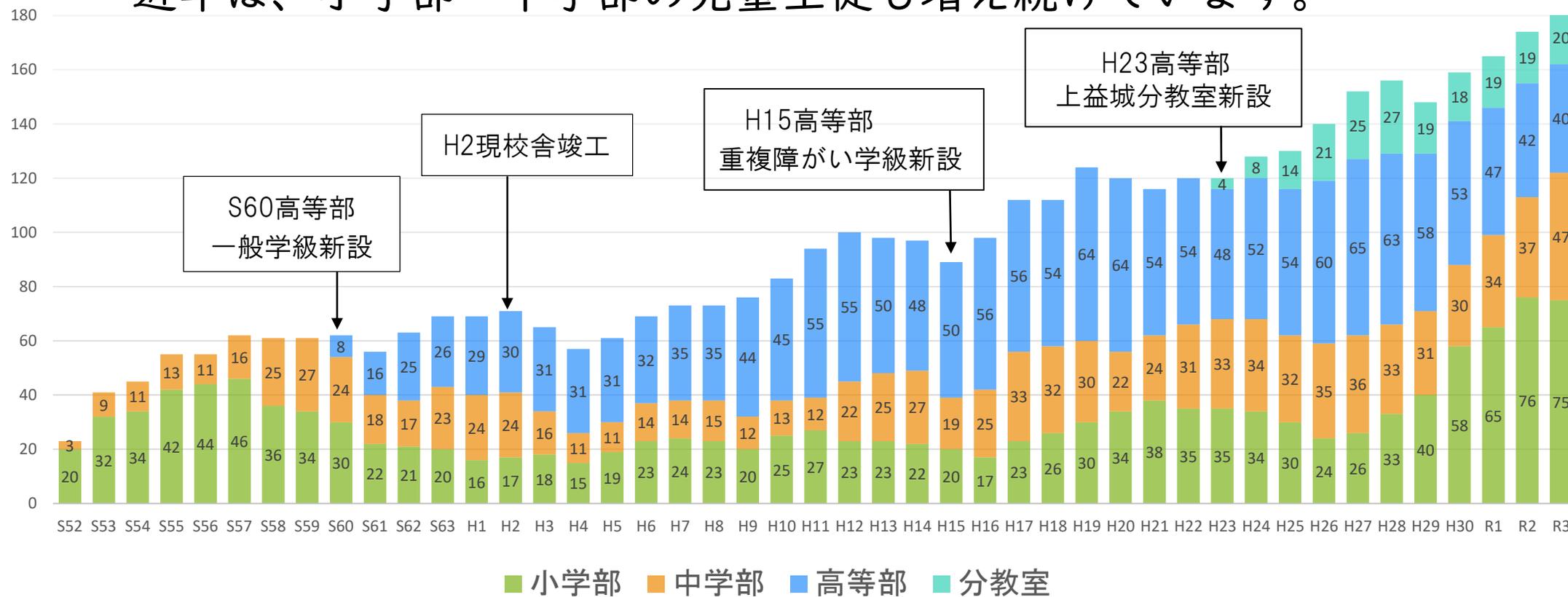


「高等部移転について」



I 本校の現状

I 本校は、昭和52年に知的障がい教育校として開校しました。昭和60年に高等部が開設すると、そのニーズは年々高まり、近年は、小学部・中学部の児童生徒も増え続けています。



Ⅰ 本校の現状

- 2 平成2年に現校舎が竣工されましたが、児童生徒数の増加に伴い学級数も増加しており、深刻な教室不足となっています。
- ・ 現校舎は、15学級を想定して建設。
 - ・ 令和3年度の学級数は、34学級。
 - ・ 特別教室を教室に転用して対応中。

	平成2年度	令和3年度（除分教室）
在籍数	71人	162人
学級数	14学級	34学級



2 対策

- 1 この状況を改善するために、熊本県教育委員会による「県立特別支援学校整備計画」に基づいて松橋西支援学校高等部を松橋高校内に移転することになりました。
- ☆ 熊本県内の知的障がい教育校では、どこも同じように教室不足の状況にあります。
- ・天草支援学校高等部を天草拓心高校内に移転。（令和4年4月）
 - ・荒尾支援学校高等部を岱志高校内に移転。（令和5年4月）
 - ・球磨支援学校を、多良木高校跡地に移転。（令和6年4月）



3 今後の展望

思い描く「新たな高等部の姿」

○地域の方々や松橋高校の生徒、宇城市役所や事業者、農家の方々とふれあう中で、本校生徒のことを御理解いただき、互いに認め合い支え合う関係を築き上げていきたい。

○作業製品販売や近隣施設での清掃活動、事業所からの請負作業や近隣農家での農業作業実習など、新たなスタイルでの作業学習、地域の方と存分に関わり喜びを分かち合える「地域とともにある学校」としたい。



4 今後の予定

○設計及び工事について

令和3年	10月	実施設計決定
令和4年	2月以降	工事開始
令和5年	1月	工事完了
	4月	開設